就職活動時期変更

―利点と欠点―

2017年卒の就職活動における企業の面接などの選考を6月に解禁することを、経団連は検討している。6月解禁の要請書を提出したのは、中小企業の加盟が多い日本商工会議所だ。8月解禁だった今年の選考が2ヶ月前倒しされることになる。

今年の変更は結果的に企業・学生双方の負担となってしまった。経団連の定めた就職活動時期には法的拘束力がないため、経団連非加盟企業はもとより、加盟企業の中でもこのルールに従わず、解禁前に選考を始める企業があったことが原因で、就職活動期間の長期化や、「オワハラ（『就活終われハラスメント』の略。内定者が別の企業の面接に行ったり、内定を辞退したりしないように企業が囲い込むこと）」の過熱を招いた。このような中で、就職活動をする学生には、論文・研究などへの影響や、留学時期の変更等が見られた。また、大企業に落ちた後に中小企業の選考を受ける従来の計画が立てられなくなるなどといった声もあった。

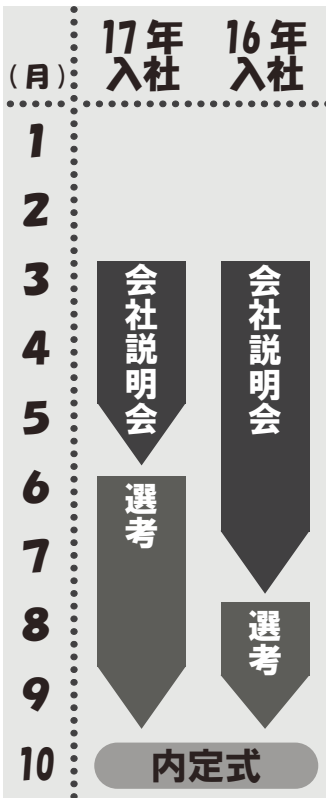
以上のような批判を受け、17年卒の就職活動の選考解禁を6月にすることが検討されているが、この変更に伴うメリットとデメリットは何であろうか。

まず、6月に前倒しすることで就職活動の長期化を避けることができる。つまり、多くの企業が選考解禁を順守する見込みだ。これに追随して、オワハラも減ることが予想される。また、4、5月では会社説明会からの期間が短いことや、7月では大学の試験期間と重なることなど学生の大きな負担を、6月解禁では軽減することができる。さらに、選考から内定式までの期間が長くなることで、企業・学生双方に余裕が生じる。これらが利点となるだろう。

反対に、企業としては、6月には株主総会が集中することから、選考に時間を割くことが難しくなると見られる。また、学生側は学業や研究に専念できる時間が減ることが欠点として挙げられる。

ただ、17年卒の就職活動スケジュールに関して、大学や短大がつくる就職問題懇親会は16年と同様に先行解禁を8月にすることを記した要請書を、経団連と日本商工会議所に提出したことから、予断を許さない状況だ。就職活動をする側のさらなる混乱が生じることが懸念されており、今後の動きをよく確認する必要がある。

スケジュールが変更になったからといって、就職活動の内容そのものには変更はない。日々の積み重ねが就職活動の成果に反映されるべきである。さまざまな情報が飛び交う中でも、惑わされず、目標を定めて早くからしっかりと準備をすることが重要である。



▲就職活動スケジュール

東京理科大學新聞

【発行所】
東京理科大学新聞会
＜住所＞
〒162-0825
東京都新宿区
神楽坂１丁目３番地
２号館 2515 部室
＜連絡先＞
E-mail
tuspress@gmail.com
HP
http://tuspress.jp
Twitter
@tuspress

2 株式会社ディスコインタビュー
3 研究室紹介・書評・職業
4 関東学生新聞連盟 合同紙面企画
5 院入試・初詣・アイス
6

冬休みの過ごし方

我が国における大学生の冬休みというのは概して短い。本学の夏休みが約1ヶ月半だったことを考えると、2週間というのはかなり短期間である。おまけに休暇が明けるとすぐに後期到達度評価試験が雁首（がんくび）そろえて待っている。しかし、その対策の勉強漬けで冬休みが終わるのも、非常に虚しい気分になると思われる。そこで、本記事では大学生活における冬休みの上手な過ごし方を考えて記す。少しでも参考になれば幸いである。

まず、計画を立てるべきである。幸か不幸か、冬休みは夏休みのように長くないから、それを逆手にとって細かいスケジュールを立てることができると思われる。ただし、ここで注意すべきことは「過密なスケジュールにしない」ことだ。例えば、普段計画を立てない人が、いきなり分刻みでスケジュールを組んだとして、それらのうちどれか1つでも計画に反してしまった場合、それ以降のスケジュールにも従わなくなる傾向がある。これでは本末転倒だ。冬休みを最大限有意義に過ごしたいのであれば、日単位の計画を立てることをおすすめする。

次に、どんな計画を立てるのかを考える。このような時は大切な行事の予定から決めるものである。その筆頭が「初詣」である。初詣で1年の良いスタートを切るのを候補に入れることをおすすめする（初詣に関する記事を本紙6面に掲載）。それから、学習計画を立てる。2週間しかないのだから、試験のために何でもかんでも勉強する、というわけにはいかない。これも同様に的を絞る必要がある。①直近の試験の対策、②苦手科目の対策、の2つがおすすめだ。これについても、日単位で「この日にこの教科を勉強する」などというようなスケジュールを組むのが良い。

最後に、立てた計画を遂行するべきである。計画は立てただけでは意味がない。実行して始めて計画として役に立つのだ。

ところで、この記事のタイトルは「冬休みの過ごし方」となっている。しかし、以上のことは冬休みに限定された話ではない。そもそも大学生活を送っていく上で、時間というものは自分が思っている以上の猛スピードで過ぎ去っていく。入学式がつい昨日のことのようにも思えるし、まだ先だとも思える卒業式にも、気がつけば出席することになっているに違いない。特に、勉学で忙しい我々学生は、日々の勉強に追われるうちにあっという間にさまざまなタイムリミットを迎えている。こうした日常を、無計画に過ごすのと、大まかでも計画通りに過ごすのとでは、最終的には大きな差になっているのではないだろうか。

筆泉

「歴史にｉｆは無い。」わたしの口癖だ。誰しも「あの時ああしていれば……」と後悔することがある。わたしだってそうだ。しかし、後悔してどうなるというのだ。後悔して、何か役に立ったか▼現代のわたし達にはまだ時間遡航の技術を手に入れていないから、回顧して後悔するより他ない。過去に干渉することができないのである。その点では『クリスマス・キャロル』のスクルージも、過ぎ去ったクリスマスの記憶を思い出すことはできても、歴史を改変するには至らなかったのである▼では如何にすれば良いか。簡単なことである。過去を受け容れよ。過去を肯定せよ。幸福な思い出も、辛くて忘れてしまいたい事実も、総て引っ包めて。それらが小さな歴史となって、現在の自分を、将来の自分を支える土台となるのである。過去にさまざまな選択をしてきたからこそ、現在がある。それなくして未来に向かって真摯に生きることなど不可能だと信じている▼7年前に作家ユ氏が『デイ』という文章を書いた。わたしはそれをインターネットの記事で読んだのだが、その時からわたしの考え方はがらりと変わってしまった。氏は作中でまさにわたしが今挙げたように、過去が繋がって今があることを謳っていた。そして、未来へ強く生きることを説いていた▼『デイ』の最後に氏はこの言葉で締めくくった。「今から始めたって、遅くはない。心配しないで、次はあなたの出番だから。自分の中だけで、挫けたりしてはいけない。（原文は英語）」（ひだり）

就活に、自分らしさをプラスする。
キャリタス就活2017
[career+]

東京理科大学のみなさんの就活に必要な４つの＋（プラス）

＋気づき
自己分析ツール、診断で「自分らしさ」に気づける！

＋発見
「自分らしさ」を活かせる企業が見つかる！

＋自信
他では入手できない人気企業の『特別情報』をGET！

＋No.1のニュース
就活に最も役立つ※『日経の注目ニュース&リサーチ』

※2015年10月 日経就職ナビ2016学生モニター調査

冬のインターンシップ情報や、業界・企業研究を深めたい人はこのイベントに注目！
「インターンシップ&仕事研究」
2016 1.16 Sat. 11:00▼18:00
東京ビッグサイト
私服参加OK！
社会人と気軽に話せる！
国内最大級のインターンシップイベント
業界・企業研究がより深まる！
ノウハウ講座で就活準備が進む！

SPI対策なら キャリタス模試
第７回 SPI形式 12月10日(木)～20日(日)
第８回 一般常識 2016年1月10日(日)～20日(水)
2015年6月～2016年5月まで計12回実施
毎月10日から20日に受検すれば全国ランキングが分かり、受検期間を過ぎても過去問題に挑戦できる、先輩から大好評の筆記試験対策です。

キャリタス就活 SEARCH
キャリタス就活 2017　@careertasu_17
スマホで3分登録完了！